



# CAMPUS

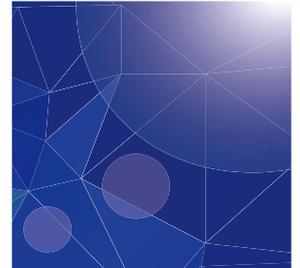
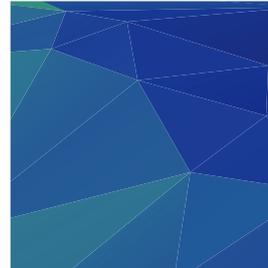
## 2017 SPRING

Vol.  
126



奈良工業高等専門学校

平成29年3月発行  
〒639-1080 奈良県大和郡山市矢田町22  
奈良工業高等専門学校 広報室  
TEL. 0743-55-6034(CAMPUS担当)  
ホームページ <http://www.nara-k.ac.jp>  
メールアドレス [gakusei@jimmu.nara-k.ac.jp](mailto:gakusei@jimmu.nara-k.ac.jp)



ラグビー全国大会  
準優勝(4年連続)



高専ロボコン  
全国大会  
ロボコン大賞受賞  
(2年連続)



### contents

巻頭言	02
高専女子フォーラムに参加して	03
国際交流レポート	
学生の活躍①・学生表彰	04
高専ロボコン2016全国大会	05
ロボコン賞2年連続受賞	
全国高専体育大会ラグビー	

卒業おめでとう	06
専攻科修了おめでとう	08
学生会(広報委員会)活動レポート	09
カウンセラーだより	
学生の活躍②	10
学生会から	11
クラブ・同好会紹介	

### information

- ☆第10回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテストに参加して
- ☆【速報】平成28年度奈良県高等学校新人大会兼学年別弓道大会
- ☆卒業記念品の寄贈
- ☆行事予定(4月~7月)



桐川 修

学生のみなさん、保護者のみなさん、こんにちは。1982年の赴任以来35年間ドイツ語担当として奈良高専で教員をつとめてまいりましたが、今年度一杯で一応の区切り、定年を迎えます。ただし、あと2年間は嘱託教員として授業担当を続けることになっています。また1969年から5年間は本校電気工学科の学生として在籍していましたので、学生、教員合わせるとちょうど40年間奈良高専に所属していたことになります。

着任当時は私もまだ20歳代、しかも学校の官舎(学校の東側、現在は駐車場になっているところ)に住んでいましたので、毎日のように5年生の学生が訪ねて来てくれ、中には泊まっていく者もいました。ドイツ語のカリキュラムは現在と同じで4年生週3時間必修、5年生週2時間選択です。学生も教員も今と比べて時間的に余裕があったので、放課後や休日にドイツ語の勉強のために大阪や京都のドイツ文化センターに出かける者もいました。おそらく当時はまだ多くの大学で編入学試験に第2外国語科目があり、そのための準備だったのかもしれませんが。私自身もドイツ語教員のための研修の機会があれば積極的に参加していました。そうしているうちに1985年夏、はじめて3か月間の研修のためドイツに派遣されることになりました。学生時代に何度かドイツ渡航の計画を立てましたが、往復の航空券代を工面することができず断念していましたが、今回は航空券だけでなく滞在費や研修費用も支給されるので、とてもありがたかったことを覚えています。成田空港からアラスカのアンカレッジ経由で(当時はまだヨーロッパまでの直行便はありませんでした。)ドイツのフランクフルト空港に降り立った時の感動はいまでも忘れることはできません。プログラムはもちろんドイツ語運用能力とドイツ語教授力の向上をはかる研修が中心ですが、それ以外にランデeskunde Landeskundeと呼ばれるドイツの地誌的な知識を増やすための研修にも多くの時間が割かれていました。とくに当時はまだドイツが東西に分断されていたので、西ベルリンに滞在した2週間はもっぱらドイツの現代史、そして戦後の東西ベルリンがおかれた状況を知るために毎日あちこちに出かけました。市民へのイン

タビューやドイツの歴史を物語る建造物、文化遺産などを訪問したものです。もちろん壁を越えて東ベルリンにも何度か入りました。

その後、1990年にも同じく3か月のドイツ研修に参加する機会を得ました。この時は、ベルリンの壁が崩れ間もなく東西両ドイツが統一されるという状況の中での滞在でした。とくにベルリンでは以前は行けなかった東側へも自由に立ち入ることができ、あらためて東西両ドイツの較差を実感しました。

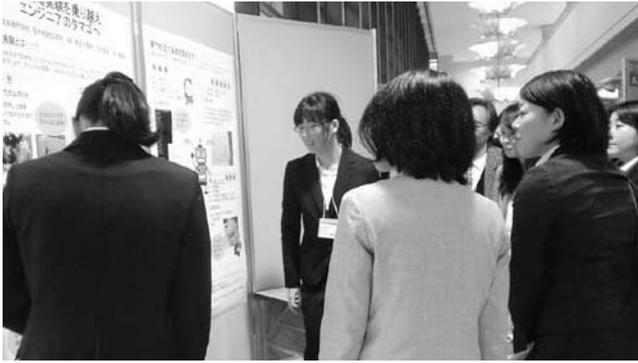
ところで、学生のみなさんから『先生はどうしてドイツ語を教えるようになったんですか。』とたずねられることがよくあります。このような質問に対しては、『ドイツという国、そしてドイツ語そのものに興味を持ったから。』と答えています。日本と同じく第2次世界大戦を枢軸国として戦い、そして敗れ、戦後は焼野が原となった国土の中から、やはりともに奇跡の復興を成し遂げた共通点に大いに興味をそそられていました。そして将来はぜひドイツに行ってみたいと思っていました。高専に入学して3年生になってドイツ語を勉強し始めたことが大きな転機となりました。(当時は3年生からドイツ語の授業がありました。)行ってみたいと思っていた国の言葉ですし、またもともと英語は好きでしたので、期待に胸を膨らませて授業に臨みました。授業を担当されていた先生はかなり厳しい先生でしたが、そのおかげで3年生が終了するころにはドイツ語の勉強が他の教科の勉強よりもはるかに面白くなっていました。4年生でもドイツ語の授業があり、そして5年生になって卒業後の進路を決めなければならなくなったので、将来ドイツあるいはドイツ語関係の職業に就きたい、との思いでその方面の大学に進学した次第です。

さて、最後にみなさんにひとつお願いがあります。奈良高専では4月からグローバル教育プログラムがスタートします。詳しい内容については別途案内があるかと思いますが、要するにみなさんに【全地球的規模】で活躍できるようなエンジニアになってもらいたい、というためのプログラムです。(英語やドイツ語のglobalはラテン語のglobus【球】に由来する語です。)全地球的規模で活躍するためには、共通のコミュニケーション手段となっている英語の習得は欠かせませんが、できればもうひとつ外国語の勉強をお願いしたいと思います。ドイツ語に限定する必要はありません。世界には何千という言語がありますので、みなさんの母語である日本語、そして英語、それに加えてもうひとつの言語というわけです。じつはこの母語プラス2言語というのは現在、EU(欧州連合)の言語政策の基本になっているものです。(もともとEUでは母語プラス2EU言語です。)高専における技術教育のすばらしさについてはすでにみなさんもいろいろなところで耳にしているかと思いますが、それに1+2の言語運用能力が加われば鬼に金棒です。どうぞそのための努力をお願いしたいと思います。





# 高専女子フォーラム報告



## 高専女子フォーラムに参加して

電子制御工学科4年 粟生 小百合

私は高専女子フォーラムで女子中学生とその保護者、企業の方々に向けて、電子制御工学科の専門科目と多段階型実験とその関連について、ポスター発表を行いました。

ポスターの作成と発表練習では、ポスターのデザインや内容を工夫し、どのようにすればわかりやすい説明ができるかを考えました。当日の発表では、聴く方の立場になり、できるだけわかりやすく説明するように努めました。この過程を通して、プレゼンテーション力を向上させることができました。それとともにポスター作成を通して、4年間講義や実習で学んできたことがロボットの製作にどのように活かされているのかを振り返ることができ、今後の学習へのモチベーションに繋がりました。

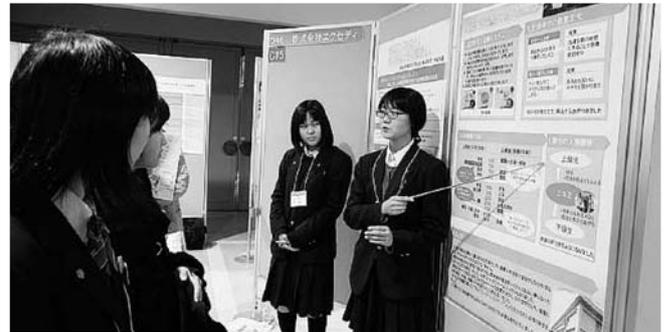
また、他高専の女子学生の発表や、実際に社会で活躍されている女性技術者の方々の話を聴くことができ、これからの高専生活や、進路を考える良い機会になりました。

## 初めての高専女子フォーラム発表

電気工学科2年 森田 彬菜 平松 香蓮

私達は今年初めて発表者として高専女子フォーラムに参加し、中学生とその保護者、企業の方に学校生活についてのポスター発表を行いました。ポスター作成では、「一番伝えたいことはなにか」、「要点はどこか」をとっても考えました。普段することがない分苦労もしましたが、自身の能力を上げることに繋がりました。互いの発表を聴き合い、改善点を提案するとともにそれを自身の発表に活かしました。発表では、多くの方から質問をいただき、良い点・悪い点を知ることができました。また、企業の方による男女共同参画の取り組みについての発表は、今後の進路を考える上でとても参考になりました。

ポスター制作も練習も改善点が多くあり大変でしたが、フォーラムが終わったときには、満足感と達成感を得ることができました。今回の経験を来年度のフォーラムに活かしたいと思っています。

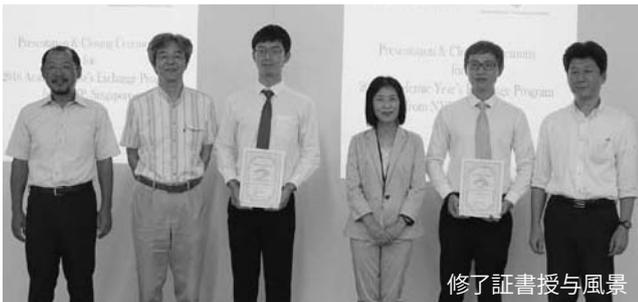


フォーラムで説明する学生



# 国際交流レポート

国際交流委員長補佐 松井 良明



修了証書授与風景

## 『クラスで1名以上が海外へ!!』

今年度は本科・専攻科含め44名の学生が研修として海外へ行きました。ここ数年で最も多い参加者数です。その中には「トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム」に参加した本科生も含まれています。今後さらなる海外派遣の機会を提供して参ります。

## 『海外の3つの教育機関と国際交流協定を締結しています』

シンガポール・台湾・香港の高等教育機関と協定を締結しています。現地の交流担当者と常時連絡を取り合っている為、不測の事態が起こった際も担当者を含め緊急連絡サポート体制が整っています。また、今後は全国高専のネットワークを活かし、さらなる国際交流の機会を提供できる予定です。

## 『奨学金制度活用で費用負担が軽減』

渡航費の一部を奨学金から負担することがあります(例:シンガポールの場合、月額10万円)。経済的に難しい場合でも奨学金制度を利用すれば、通常の海外旅行より安価な金額で参加できます。

## 『受入プログラムも充実』

海外渡航を行わなくても、学校に居ながら海外の学生と交流する機会があります。海外からやってくる同世代の学生と英語でコミュニケーションをとってみませんか?

## 『安全面に配慮』

本科生の国際交流事業に関しては、引率教員が2名以上随行します。

外務省「海外安全ホームページ」の中の最新の治安情報・注意レベルにより渡航を中止することがあります。また、保護者同意の上で参加いただくこととしています。

初めて海外へ行く場合でも、事前説明会にて、パスポートの取得方法および現地での注意点を説明する機会を設けております。



成果発表風景





# 学生の活躍 ①

平成28年12月15日(木)～17日(土)に札幌コンベンションセンターにて開催された、第17回公益社団法人計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会(SI2016)にて、本校機械制御工学専攻2年 梶島基高君が発表した「2視点X画像を入力としたデータベースマッチングに基づく人工足関節位置姿勢推定システムの開発」、同 機械制御工学専攻2年 中村匠

君が発表した「古典舞踊動作の手先軌道に着目した優美さの定量化」、同 機械制御工学専攻2年 揉井雅紀君が発表した「ドローンを用いた圃場環境データ収集システムの構築」が、それぞれSI2016優秀講演賞を受賞しました。



電子情報工学専攻2年 都築圭太君が、平成28年7月14日(木)に開催された第304回電気材料技術懇談会の若手研究発表会にて「複合型半導体光電極による高効率な水素生成に向けた研究」について発表を行い、発表奨励賞を受賞しました。



## 平成28年度(後期)学生表彰者

### 優秀賞

5 M 上田 誠也、羽田 紘樹 5 E 芦田 祐哉、大西 梓 5 S 岩名 孝征、佐藤 優志 5 I 大野 優、吉川 大和 5 C 石川 真平、林 大朔

### 皆勤賞

5 M 上田 誠也、緒方 拓海、北浦 空、佐々木 敬涼、竜田 一輝、萩岡 宣旭、長谷川 夏樹、藤田 貴広、松内 秀直、山田 聖也、山本 将也  
5 E 伊庭 由季乃、出口 達也、永井 步美、新村 和人、松橋 秀弥、山鷲 拓人  
5 S 岩名 孝征、勝見 嘉友、河岸 壮志、川田 悠介、酒井 亜規行、坂井 雄亮、佐藤 優志、田中 優花、前田 真志、大和川 飛翔、横田 理樹  
5 I 岩崎 亘平、岩本 好広、大野 優、川上 幹男、徳田 義行、宮本 靖貴  
5 C 石川 真平、角 義弘、阪本 知樹、林 大朔、山田 大介

### 専攻科研究優秀賞

2 M S 機械制御工学専攻 北園 一将  
2 E I 電子情報工学専攻 山本 遥平  
2 C 化学工学専攻 松井 誉始

### 特別賞イ

5 M 上田 誠也 第43・44・45・46・47回 全国高等専門学校体育大会ラグビーフットボール大会 出場  
土井 陽登 第45・46・47回 全国高等専門学校体育大会ラグビーフットボール大会 出場  
長谷川 夏樹 第43・44・45・46・47回 全国高等専門学校体育大会ラグビーフットボール大会 出場  
5 E 塚本 涼太 第43・44・45・46・47回 全国高等専門学校体育大会ラグビーフットボール大会 出場  
5 S 河岸 壮志 第49・50・51回 全国高等専門学校体育大会 陸上の部 出場  
外山 仁大 第26・28回 アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト大会・WRO(World Robot Olympiad)2012 Japan大会 出場  
高岸 涼平 第26・28回 アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト大会・WRO(World Robot Olympiad)2012 Japan大会 出場  
大和川 飛翔 学生会会長1期、学生会会計2期  
5 I 岩本 好広 第48・49・50・51回 全国高等専門学校体育大会 陸上の部 出場  
金内 高志 第48・49・50回 全国高等専門学校体育大会 陸上の部 出場  
熊本 祐馬 第43・44・45・46・47回 全国高等専門学校体育大会ラグビーフットボール大会 出場  
小銭 瞭介 第45・46・47回 全国高等専門学校体育大会ラグビーフットボール大会 出場  
5 C 小野 翔平 第44・45・46・47回 全国高等専門学校体育大会ラグビーフットボール大会 出場  
谷口 聡生 寮長1期 副寮長2期  
中西 創 第43・44・45・46・47回 全国高等専門学校体育大会ラグビーフットボール大会 出場  
吉田 航 第19・20・21・22・23回 全国高等専門学校将棋大会 出場

### 平成28年度 英語学習表彰者

#### 英語学習優秀賞(11名)

3 I 藤原 裕大、3 I 鷲尾 巧、4 I 辻 悠一郎  
4 C 松下 紗也子、5 S 坂井 雄亮、5 I 藤谷 知季  
5 I 本田 祥己、5 I 宮本 靖貴、5 S 鈴木 遼太郎  
5 C 林 大朔、E I 2 田中 勇気

#### 英語学習奨励賞(21名)

2 C 松生 愛、3 M 吉田 太地、3 E 秋山 莉香  
3 S 生駒 雅晴、4 C ARYA DHARMA  
4 C 大西 朝登、4 C 笠原 海帆、5 E 大西 優也  
5 S 岩名 孝征、5 S 面谷 康平、5 S 佐藤 優志  
5 S 中嶋 太郎、5 S 松井 智一、5 I 大野 優  
5 C 角谷 祥太郎、5 C 渡邊 真衣  
MS 1 西谷 啓吾、MS 1 藤本 森峰  
MS 1 松岡 潤樹、E 1 奥戸 嵩登、C 1 大西 悟

#### 英語学習努力賞(48名)

3 M 杉本 健太郎、3 M 山田 清香、3 E 西野 修馬  
3 S 石山 時宗、3 S 川村 俊介、3 S 木田 圭祐  
3 I 前田 宏希、3 I 森田 悟大、3 C 市村 優佳  
3 C 井之上 華、3 C 山下 貴央、4 E 徳井 幸輝  
4 S 北村 大樹、4 I 坂本 直弥、4 I 中谷 彦太  
4 I 中野 祥平、4 I CHALEUNSOUK BOUNPASITH  
4 I 脇條 広都、4 C 小堀 彰久、4 C 佐竹 香保  
5 M 藤原 展仁、5 M 水田 航平、5 M 八木 直輝  
5 M 吉村 大智、5 E 嶋村 遼哉、5 E 東中屋 美帆  
5 E 山鷲 拓人、5 S 磯田 雄基、5 S 杉本 竣基  
5 S 瀨川 拓真、5 S 田中 優花、5 S 西谷 奈央  
5 S 濱尾 岳人、5 S 前川 哲志、5 I 青木 聡志  
5 I 蛭子 谷 侑亮、5 I 川上 幹男、5 I 辻 久仁絵  
5 I 森岡 湧希、5 I 安川 菜月、5 I 山本 寛太  
5 C 石川 真平、5 C 岡本 悠介、5 C 大原 樹  
5 C 川崎 友輔、5 C 坂本 大河、5 C 日高 菜南子  
5 C 吉川 綾奈

### 特別賞ロ

○第47回 全国高等専門学校体育大会ラグビーフットボール大会 準優勝 25名  
5 M 上田 誠也・土井 陽登・長谷川 夏樹、5 E 塚本 涼太、5 I 熊本 祐馬・小銭 瞭介  
5 C 小野 翔平・中西 創、4 M 瀬川 紘生・藤田 直土、4 C 田中 咲磨、3 M 伊東 聡・藤澤 穂高  
3 E 深瀬 雅己、3 I 福本 優介、3 C 松浦 拓海、2 E 手塚 峻太、2 S 大床 信滋・柳村 ゆう  
2 I 神崎 優、1 M 坂垣 壮流・黒川 祥、1 E 小泉 太護・向井 康浩、1 I 村本 幸次郎  
○アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2016 全国大会 ロボコン大賞 8名  
4 S 濱口 翔大、3 S 久米 弘祐・田中 直孝、2 S 中嶋 一登、1 M 丸尾 元一  
1 S 西岡 亜美・平木 優成・宮原 康輔

### 特別賞ハ

○平成28年度 第1回廃炉創造ロボコン団体戦出場 優秀賞受賞 3名  
5 S 木内 拓・黒川 慶也・外山 仁大  
○平成28年度 KOSENセキュリティ・コンテスト2016出場 第2位 4名  
3 E 宮下 響、3 S 萬代 裕輔、3 I 前田 宏希・森田 悟大

### 【英語学習表彰制度】

本校学生の英語力向上を図るため、TOEICスコアの優秀者と英語検定合格者を表彰する制度です。平成28年度は計80名の学生が、次の基準によって表彰を受けました。

英語学習優秀賞…本科生・専攻科生のうちTOEIC735点以上または英検準1級以上に合格した者

英語学習奨励賞…本科生・専攻科生のうちTOEIC605点以上または英検2級に合格した者

英語学習努力賞…本科生のうちTOEICスコア470点以上または英検準2級に合格した者

優秀賞……在学5年間に於いて、学業成績が優秀で、人物が優れている者に贈られます。

皆勤賞……在学期間中、欠席、欠課がなかった学生に与えられます。ただし、同一科目における遅刻、早退は3回で欠課1時間とみなされます。

専攻科研究優秀賞……専攻科在学期間中、論文等の特に優れた学術研究活動が認められた者に贈られます。

特別賞イ……在学期間中、全国大会に3回以上出場した者並びに課外活動等において特別な功績があった者に贈られます。

特別賞ロ……全国大会又はこれに準ずる大会において、優勝又は準優勝した個人又は団体に贈られます。

特別賞ハ……ロに準ずる催し物において、それらと同等と認められる成績を挙げた個人又は団体に贈られます。

特別賞ニ……学校内外において特別な善行、学生の模範として推奨できる行為又は功労等のあった個人又は団体に贈られます。





## 高専ロボコン2016 全国大会 ロボコン大賞 2年連続受賞

電子制御工学科4年 濱口 翔大

昨年度、「大和」が全国優勝、そしてロボコン大賞の同時受賞をしました。そのプレッシャーの中、私たちは全国連覇を目標に今年度のロボコンに臨みました。

「大和」のメンバーの先輩方が引退し、メンバー全員が入れ替わりました。また例年に比べ、上級生が半数ほどしかいないという状況でした。そんな中、これまでロボコンプロジェクトが積み上げてきた伝統や技術を受け継ぎ、優勝を狙えるロボットを作ろう、と考えてきました。

全国大会では、準決勝で回路トラブルに足をすくわれ敗退。全国連覇まであと少し、というところで悔しい思いをしました。しかし、初戦で大会記録の3.2mの砦を完成、他高専のチームに追従を許さない、圧倒的な高さを見せることができました。この記録を達成したアイデアや技術力などが評価され、2年連続のロボコン大賞を受賞しました。

Aチーム「△」のメンバーだけでなく、Bチームのメンバーやロボコンプロジェクトを作り、育て、率いて来て下さった

OB・OGの方々、支援して下さる先生方のおかげでこの結果を達成することができたと思います。本当にありがとうございました。

来年度も優勝や大賞を目指せる、素晴らしいロボットを作る、という想いでロボコンに臨みたいと思います。



## 全国高専体育大会ラグビー

### 「5年生への感謝を胸に」

昨年の1月9日、24対25という悔やみきれない1点差で泣いた準優勝から始まったチームでした。例年よりも全国優勝を強く思い、挑んだ1年でもありました。特に5年生は下級生の精神面、プレー面、両方においてとても色々と教えて下さいました。

ゴールデンウィークの集中ゲーム、夏の菅平合宿を経て、8月後半に強化練習を行いました。強化練習では台風に見舞われましたが、雨の中、懸命に力を振り絞り、選手同士が意地のぶつかり合いでタックルダミーに当たる衝撃音がグラウンドに響き渡りました。

近畿高専大会を優勝し、「仙台に勝って全国制覇」を合言葉に、冬休みの最終練習へと突入しました。冬休みの練習は、午前、午後と1日練習をし、グラウンド整地はトンポではなくタイヤを引いて全面整地をしました。それだけ頑張れたのは、チーム全員が「いつもチームのために一生懸命な5年生と全国優勝をしたい」という気持ちがあったからだと思います。そして1月3日、このチームでの252日目の練習を奈良高専グラウンドで終え、チームとしての決意とそれぞれの覚悟を固め、全国大会へ乗り込みました。

初戦の函館高



ラグビー部マネージャー 情報工学科2年 辻浦 沙季  
物質化学工学科2年 杉本 波留花  
物質化学工学科2年 吉田 奈央

専は53対0、準決勝の佐世保高専は22対5で勝利し、決勝は4年連続で、仙台高専(名取)との対戦となりました。

前半はペナルティゴールで3点リードしたものの、その後2トライ決められ、3対10で終えました。後半さらにトライを奪われましたが、その時5年生の選手から「まだ諦めてないぞ」とチームを励ましている声が聞こえました。最後までチームのために声を張り上げ、体を張っている5年生の姿に涙が止まりませんでした。そして試合終了間際、奈良高専がトライを1つ決め、試合は終了しました。

今年度、チームがスタートするにあたり、全国制覇をするために必要なこととして、「1人1人が変わる」、「人間性の向上」という2点を5年生が掲げてくれました。その取り組みとして、毎週土曜日の練習前に、部室棟周り、体育倉庫、ウエイトルーム、グラウンドトイレの掃除をすと決め、1年間続けました。月に1度は必ず学年ミーティング、学年の代表者によるリーダーミーティングを行いました。5年生は常に下級生の事を考え、下級生は5年生の背中を追い続けてきました。結果は残念でしたが、この悔しさと5年生が残してくれた財産を継承し、新チームも頑張っていきたいと思います。

最後になりましたが、いつも応援して頂いている皆様、本当にありがとうございます。皆様の声援はとても私たちの力になっています。これからも全国優勝という目標に向かって日々精進していきます。引き続き、ご声援を宜しくお願いします。





## 機械工学科5年 藤田 貴広

長いようで短かった高専での生活は一瞬のように過ぎ去り、5年前の入学式をつい昨日のこのように思い出します。高専生活での5年間を思い出すと、様々な思い出が浮かび上がってきます。友達がたくさん出来た1年次のハイキング、皆で一致団結したスポーツ大会、皆で協力合って乗り越えたテスト、社会の様子を学んだ工場見学、皆でバカ騒ぎした修学旅行、これらの出来事はすべてかけがえのない思い出となっています。

5年次には卒業研究が始まり、高専生活で一番忙しい日々が過ぎました。思うような結果を得られず、四苦八苦する日々も続きました。それでも諦めず、試行錯誤を繰り返しながらこれらの困難を乗り越えた経験はこれからの人生で大きく役立っていくと思います。

これから私達は大学に進学する者、社会に出て働く者などさまざまな道に進んでいきます。どの道に進んでも、この学校で身に付けた知識や経験を活かし、世界中の工業の発展に貢献できるような技術者になりた



いと思います。

最後に、勉強や部活動、研究、進路など様々な面でご指導していただいた先生方、そして私生活でサポートしていただいた家族にこの場をお借りして深く感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

### 機械工学科5年学級担任 矢尾 匡永

5年生の皆様、卒業おめでとうございます。この5年間で、クラスの人数がかなり少なくなり、友人が去ることで寂しい思いをしてきたことと思います。専攻科に進む人達以外は、これからほとんど一人になることと思います。これまで以上に広がった環境の中で、また新しい友人や人間関係を作ってゆくとします。それとともに、ますます勉強・研究や仕事を通して、君たちが評価されていくことになるとします。高く評価されることで、良好な人間関係も生まれてきます。そのために、熱中して丁寧に迅速に仕事(研究)してください。



5Mクラスメイト達

卒業  
おめでとう



## 電気工学科5年 橋 詰 周

入学してから卒業に至るまでの5年間はあっという間に過ぎていきました。入学当初に予想していたよりもずっと早く、私の人生では最も短く感じられた時間でもありました。

高専生活での様々な行事や学業、部活動で過ごした時間は私のかけがえの無い宝物であり、このすばらしい時間をくれたクラスの友人や先生方には感謝の言葉もありません。

5年間の時間を過ごしたクラスの友人たちは、皆仲良く、クラス全員で遊びに行ったりもしました。勉強面でも真面目に取り組み、学科にある共有スペースがクラスメートでいっぱいになることも多々ありました。このようにお互い切磋琢磨することができたクラスでした。

高専生活の集大成となる5年生では卒業研究が始まり、研究結果が出ないときや論文の執筆、資料の作成など苦しい日々が続きました。研究に行き詰まっとうまいかないときに一緒に問題の解決をしてくれた指導教員の先生には頭が上がりません。この1年は苦しい日々でもありましたが、同時に私たちの中の確かな自信になると確信しております。

最後に、この長く短い高専生活で勉強や研究、部活動に進路といった様々な面で私たちを支えていただいた教員の方々に深く感謝申し上げます。そして今まで苦楽を共にし、かけがえの無い思い出と時間を作ってきたクラスメートの皆に感謝し、この文章を締めくくりたいと思います。5年間本当にありがとうございました。



5Eクラスメイト達



### 電気工学科5年学級担任 小野 俊介

みなさん、卒業おめでとうございます。様々な事を共にした同級生と別れ、これからは自らの人生の道のりを歩いていくことになります。

これからは学校生活では経験することのなかった様々な場面を迎えることになりますが、5年間で自らに培った力に加えて、是非、これからも自らの力を磨き、活躍されることを期待しています。





## 電子制御工学科5年 横田 理樹

私の奈良高専での5年間の学校生活は矢のように過ぎていきました。この5年間を振り返り担任の先生方や研究室の先生方をはじめとするたくさんの先生方には大変お世話になりました。一つ一つの講義は、懇切丁寧に基礎から教えていただき、分からないことがあって質問に行ったときは、日が暮れるまで徹底的に教えていただいたこともありました。学校生活で悩んでいる時は声をかけていただき、新しいことを始めたいと思ったときは親身になって何度も何度も相談に乗っていただいたこともありました。今日までの学校生活をずっと支えていただいた、たくさんの先生方に言葉では表しきれないほど感謝をしています。

個性豊かなクラスメイトのおかげで、本当に楽しく充実した5年間を過ごすことができました。卒業にあたって、「5Sの漢字」を募集するとたくさんの候補をもらいました。スポーツ大会と同時並行して行われるe-スポーツ大会、テスト期間に開かれるリコーダー演奏会など、他のクラスではないような「変」わったこともたくさんありましたが、ほんとに「賑」やかで「仲」のいいクラスだったと思います。何人かの先生には『「珍」しいぐらい「騒」がしいクラス、でもそれこそ、このクラスの「良」いところだ』と言ってもらいました。そして、なによりも入学してからずっと「笑」いの絶えない教室はいつも「楽」しい空間でした。



この5年間は私にとってかけがえのない宝物になりました。これから先の進路で思い悩むときや辛く苦しいときも、今日までの日々を思い出せばきっと乗り越えていけるとおもいます。本当に最高の5年間、みんなありがとう。

最後になりましたが、これまでの学校生活をずっと支えてくれて、時には厳しく、そしていつも優しく見守ってくれた家族に心から感謝いたします。

### 電子制御工学科5年学級担任 櫛 弘明

みなさん、卒業おめでとうございます。察するに「不安」と「期待」そして「緊張」からスタートした高専生活ですが、日々充実した濃密な時間を過ごし多くの友に巡り会えたことと思います。有名な言葉に、「最高の友は、私の中から最高の私を引き出してくれる友である。」という言葉あります。みなさんはこの言葉通り、意見や考え方の違いはあれ、互いに影響し合い、共に成長してきた最高の友に巡り会うことができたとと思います。この最高の「宝」を大切にして卒業後も影響し合い成長し続けてください。そして、五年後、十年後さらに立派になり社会で活躍されることを願っています。



5Sクラスメイト達



## 情報工学科5年 米田 啓吾



5Iクラスメイト達と

15歳の春に奈良高専に入学し、5年間という月日は一瞬のように過ぎ去り、今になって素晴らしい仲間に出会ったことを光栄に思います。また、この環境や仲間と離れ離れになることへのさみしさをひひしと感じます。

僕は、奈良高専を卒業した後は就職しますが、新しい環境でやって

### 情報工学科5年学級担任 山口 智浩

皆さん、卒業おめでとうございます。私が担任した1年間を振り返ると、毎週のHRと教室掃除に始まり、日直での学級日誌、廊下に2列に並べた避難訓練、春秋スポーツ大会での参加メンバーらの活躍、初めて泊まった加賀屋の豪華な卒業旅行、卒研発表での皆さんの緊張した顔つきなどが思い出されました。4月からは一人ひとりが新しい人生の道のりを歩いていくこととなります。みなさんが各自の進路で成長されるのを楽しみにしています。

いけるかどうか不安でいっぱいですが、でも、5年前ここに入学する前も同じ気持ちだったと思います。それから5年経

ち様々な経験をして、今たくさんの思い出が浮かびあがってきます。2年生で高専祭実行委員会にチャレンジしました。その年の4月から11月まで長い期間わずか2日間の高専祭の運営のために必死に準備しました。運営の難しさ、いろんな人とのコミュニケーションの取り方の難しさを学び、終わってからの達成感で泣きそうになったことを記憶しています。また、高専生活5年目にして待ちに待った卒業旅行。5年も待ったのに、3日間は本当に一瞬でした。ですが、仲間とともに過ごしたこの卒業旅行は一生忘れません。

これからは、ある意味今まで引かれていたルールをはずれることとなります。厳しくて苦しいこともたくさんあると思いますが、過去、未来に囚われず、今を懸命に努力して生きていこうと考えています。

最後に、これまで支えてくださった両親、勉強や研究、進路指導と様々な面で相談に乗ってくださった先生方に深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



北陸方面の卒業旅行での5Iクラスメイト達



## 物質化学工学科5年 伊藤 陽平

この学校で過ごした5年間の出来事がつい昨日のように思い出されます。記憶力が良いだけでしょうか。入学当初は普通高校とは違った高専という特別な環境にいて、大学受験がない事や自由な校則に対して他高校への優越感がありましたが、次第に受験という競争の世界にいない事、5年間クラス替えのない閉鎖的な環境にいる事に不安や焦りを感じていました。というのは嘘で、4年生になるまで進級しか考えてなかったです。

そんな私は進路を決める時期になって急に焦りはじめました。私は就職でしたが、給料、職種、勤務地など、様々なfactorの中で1つの企業を選択する事は人生の数少ない分岐点の中でも特に重要だと感じました。採用面接の練習をしていると留学やボランティアをしておけばよかったと思います。結局のところ部活や研究などを夢中になって頑張っていたらそれで十分だと思います。高専入学時のクラスメイトの中には、他大学へ編入した友人やもう一度同じ学年をやり直した友人もお



5Cクラスメイト達



5Cクラスメイト達

り、さらには高専を退学するなど様々な道歩んでいますが、少しでも高専で学んだ専門知識は社会で立ち向かうための剣となる気がしています。

最後になりましたが、諸先生方、そして、お父さん、お母さん、本当にお世話になりました。私たちは必ず皆さんから受け取った「心」を忘れずに、それぞれの進路へと旅立っていきます。どうかあたたかく見守ってください。そして時には変わらぬご指導をお願い致します。

### 物質化学工学科5年学級担任 林 啓太

この度はご卒業、誠にありがとうございます。これから社会人として活躍される方、大学や専攻科へ進学される方とそれぞれの道を進むことになるとと思います。おそらく、これまで以上に困難なことはたくさんあると思いますが、時には立ち止まりながら、時には回り道をしながらでも立ち向かっていってください。例え失敗に終わったとしても、その経験は次に活かされるものです。そしてそのような時はクラスメイトに相談することも重要だと思います。5Cの最も良いところは、仲の良さだと思いますので。

## 機械制御工学専攻2年 松本 葵

専攻科の2年間は短かったです。自分が苦手だったことと向き合い成長できたと感じています。私は発表がとても苦手ですが、専攻科では学会に参加させていただく機会も増え、どうすればうまく伝えられるのか試行錯誤したり、英語での表現を先生と一緒に何度も検討したりしました。発表練習をする中で、指摘を受けることに自分のしてきたことを上手く表現できるようになるのが嬉しかったです。奈良高専の専攻科に進学して本当に良かったです。

## 電子情報工学専攻2年 渡邊 佳孝

ついに私たちにもこの日がやってきました。高専での居心地の良い学生生活が終わってしまうかと思うと、7年という時の流れの早さを感じます。さて、専攻科を語る上で切っても離れないのがそう、「研究」ですよ。ショボい進捗と結果の無さに不安と恐怖を感じつつ、迫り来る論文締め切りと格闘したことは今でも鮮明に思い出されます。そんな私をここまで指導してくださった先生方、友人たち、そして家族に感謝の言葉を述べたいと思います。ありがとうございました。

## 化学工学専攻2年 緒方 七海

7年間の高専生活が終わりを迎えました。小学校より長い高専生活でしたが、あっという間で特に専攻科2年間は一瞬でした。専攻科に入り、研究をする中で勉学に受験、国際交流、いろいろな企画に取り組み、めまぐるしく充実した日々を送りました。メ切に追われ色々投げ出したくなった時期もありましたが、周りの友人たちの頑張る姿を見て、私も頑張ろうと思えました。最後になりましたが、これまで支えてくださった方々に感謝の意を表します。ありがとうございました。

## 専攻科 修了おめでとう



専攻科生のみならず「C」

### 専攻科長 藤田 直幸

修了おめでとうでございます。今年度、初めての試みとして「社会技術特論」で、奈良県南部地域を対象とした課題解決学習に皆さんと取り組みました。深刻な過疎化の進行、高齢社会の働き手の問題など地方が抱える問題について、肌で感じることができました。これからの日本は、地域創生以外にも、グローバル化などに対応する必要があります。皆さんが、これらの日本の将来を左右する問題に、果敢に立ち向かう技術者・研究者として飛躍されることを心から願っております。





# 学生会(広報委員会)活動レポート

## 「広報委員会とデザイン思考」

電気工学科3年 内田 啓太

私は広報委員会の委員長として1年間務めさせていただきました。広報委員会では部活紹介ポスターやスポーツ大会の結果報告ポスターなどのデザインや制作を行っています。委員長に就任する前年度も私は広報委員会で活動を行っていましたが、委員長としてトップに立つというのは私にとってかなりの挑戦でした。というのも、それまでの広報委員会のシステムに疑問を抱いていたからです。募集した複数のポスターデザイン案から、色も細かな配置もよ



校門前風景



作製したポスター

くわからないまま適当に良さそうなものが選ばれて採用されました。本来デザインの考え方として、伝えたい内容やターゲットを絞り、より伝わりやすい配置や配色を意識して構成するものではなく、つまり何のためにポスターを作っているのかというところが曖昧になっていたのです。私は委員長になってから、複数人でもアイデアが錯乱せずに、目的を持ったデザインコンセプトを統一できないのかと考え、実行していきました。至らない点や失敗も多々ありましたが、最終的に色んな意見を取り入れ、かつコンセプトをまとめる方法が出てきました。周りの方の協力もあり、今年度は体験入学や受験生応援のポスターを校門前に掲示するなど、今までやっていなかったポスター制作にも挑戦することができ、私自身とても勉強になりました。同時に、高専生だからこそ学ぶべきデザインの考え方を、もっと広めるべきだと思うようになりました。協力していただいた先生方や先輩後輩方にはとても感謝しています。私の任期は終わってしましますが、広報委員会の今後の活躍に期待したいと思います。

## カウンセラーだより

### 上手に断る方法

こんにちは。金曜日カウンセラーの小枝です。今回は上手に断る方法について紹介します。皆さんは何かをお願いされた時、上手く断れずモヤモヤすることはありませんか? 今度の土曜日遊びにいこうよと友達に誘われた。でも月曜日にレポートの提出があるから家でレポートを書きたい。断りたいな…でも嫌われたら嫌だな…。こんな時あなたならどうしますか?

その場しのぎで言いたいことを我慢しても、長い目で見ると相手との関係性に無理が出てきます。相手の気持ちも自分の気持ちも大事にして、お互いに無理なく断るには、次の4つのポイント『DESC』に気をつけましょう。

①D (Describe、描写)：現在の状況

や相手の行動を客観的に描写する。

②E (Explain、説明)：自分の率直な気持ちを表現したり、相手の気持ちに共感する。

③S (Suggest、提案)：出来そうな詳しい解決方法や代替案、妥協案を提案する。

④C (Choose、選択)：次の選択肢を示し、どのように変化するかを伝える。

したがって、この4つのポイントに沿って断るとすれば、「月曜日にレポート提出があるんだ(D)。一緒に遊びたいけど、レポートが未完成で心配なんだ(E)。来週の土曜日はどう?(S) 難しければ別の空いてる日を教えて?(C)」となります。

友達との良い関係を無理せずに保つために、この方法を活用してみてください。

いかがでしょうか? 他にも相手に上手く伝える方法がわからない、などの相談があれば気軽に来てくださいね。

カウンセラー 小枝 久美子



本校では、各学科及び、特別相談員の先生方の相談の他に、福田・小枝カウンセラー(臨床心理士)によるカウンセリングを行っています。一人で悩みを抱え込んでしまわずに、なんでも相談を持ちかけてください。みなさんの一人一人が、より豊かで充実した学生生活を送ることができるようお手伝いをしたいと考えています。

利用方法	学生相談室・保健室で予約できます。(予約制ですが、可能な限りその場で相談に応じます。)
開室時間	心理カウンセラー(臨床心理士)が対応します。火・金曜日 15:00~18:00
場所	本館1階 保健室横 カウンセリングルーム
カウンセリングの方法	カウンセリングは原則として1対1ですが、保護者や友人と一緒に受けることもできます。

カウンセリングルームは、あなたが悩みを打ち明けたい場所でありたいと来室をお待ちしています。



## コンテスト報告

## The 5th Annual All Japan Student English Presentation Contestに参加して



私たちは、昨年12月に行われた、「第5回全国学生英語プレゼンテーションコンテスト」に出場してきました。この大会は、全国の大学、大学院、短期大学、専門学校、4年次以上の高専生を対象とした大会ですが、参加全446チームの中で高専生の出場は私たちの1チームだけでした。そして1次ビデオ予選を通過した196チームで行われる2次予選に出場してきました。上位10チームのみが進める本戦には進みませんでしたが、上位50位以内のチームに贈られるTOP50賞を受賞することができました。英語を専門とした学生が多い中で、肩を並べることができました。この大会では英語力はもちろんのこと、具体性、説得力、アイデアなどの要素も非常に重視されており、私たち高専生は自分たちの強みである工学的な知識を武器に戦っていきたく感じました。自分たちのアイデア、技術を日本の中だけでなく、英語で発信できるようになればより世界は広がると思います。皆さんも興味があればぜひ挑戦してください。

機械制御工学専攻1年 伴 瑞季  
機械制御工学専攻1年 藤本 森峰  
電子情報工学専攻1年 浦野 慎啓

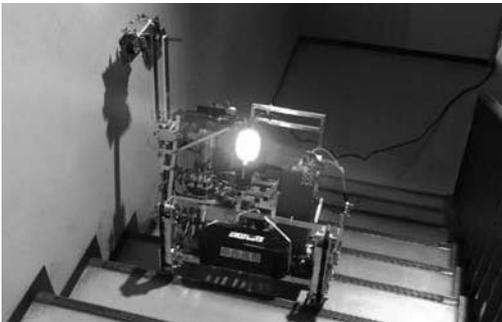
## 画期的鉄道模型制作による快挙

機械工学科2年 三部 竜太郎

この度、機械研究会は部活初の取り組みとして、金属からなる特殊な技術を用いた鉄道模型制作を行い、完成した作品を「全国高校生鉄道模型コンテスト」に出展し、理事長特別賞を受賞しました。また、日本設計工学会 関西支部主催の合同発表会に参加し、その加工過程についての発表をしました。本プロジェクトに協力にご尽力いただいた各顧問の方、並びに材料の加工を快く協力していただいた実習工場の各先生方には感謝の念が堪えません。本当にありがとうございました。

今回制作した鉄道模型(1/80スケール)は、本来模型加工に用いられるエッチング作業を行わずにワイヤーカット放電加工による金属切り出し、金型を使った車体の曲げ加工といった機械工学を駆使した「高専らしい」製法を編み出し、短期間で質の良い作品を作り上げることに成功しました。

力及ばず残念ながらコンテストでは優勝することが出来ませんでしたが、この経験を活かして今年のコンテストにつなげていきたいと思えます。また、本プロジェクトに参加しているメンバーは私一人しかいません。もしこの取り組みに興味を持った方がいらしたら、ぜひ一度機械研究会にいらしてください。



## 「第1回廃炉創造ロボコンへの挑戦」

電子制御工学科5年 外山 仁大

廃炉創造ロボコンは福島高専と文部科学省、廃止措置人材育成高専等連携協議会が主催するロボットコンテストです。

現在の日本は、福島第一原発事故後の廃炉作業を進めるために様々なロボットが開発されている現状にあります。そして実際に廃炉の中でロボットが活躍して昨今の廃炉状況に大いに貢献してきました。そしてこのロボコンは文部科学省の委託事業「英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業『廃止措置研究・人材育成等強化プログラム』」の一プログラムとして、このロボット製作を通じて学生の廃炉に関する興味を持ってもらうと共に、学生の創造性の涵養に貢献し、課題解決能力のみならず課題発見

能力を養うことを目的に全国の高等専門学校生を対象に開催されました。

このロボコンに奈良高専の島岡研究室の5年生のメンバーである外山仁大、黒川慶也、木内拓の3名が「奈良廃炉ロボコン友の会」を結成し、ロボット「Stepウォーカー」を製作しました。

ロボットを作っていくうえで課題が何点も見つかっていく時、どのように手段を選択し、どのように結果を導くかということに苦勞し、これから社会に出て働く上でも重要な「PDCAサイクル」について考えを深めることが出来ました。また、原子力や廃炉事業にも関心の沸ききっかけとなり有意義な事業であったと思えます。

## 学生チャレンジプロジェクト

## エコランレースへの挑戦

電子制御工学科3年 牧 志峰・石山 時宗・伊藤 洋介

「エコラン」と聞いて、馴染みのある人は少ないと思いますが、実は世界中で様々な大会が開催されており、その競技内容も多種多様です。私達が取り組んでいる学生チャレンジプロジェクトでは、HONDAが主催するene-1GPへの出場を目指しています。この大会は、一般家庭にあるような単3充電電池40本を電源として鈴鹿サーキットを走行し、そのタイムを競うというもので、毎年大学や企業を中心としたチームがしのぎを削っています。現在、2年目に突入した本プロジェクトは、これまでにエコランカーの車体及びモータの駆動回路とプログラムが完成しており、直近の課題として、空気抵抗が大きいことを改善するための抵抗軽減用カウルの設計・製作に取り組んでいる最中です。私達の活動目的は、エコランカーの製作を通して高専生として必要な技術力やプレゼン能力、問題解決能力などを向上させることにあります。まだ道半ばですが、目標実現のためにも活動を続けていきたいです。



日々挑戦する学生



## 『学生生活の変え方』

学生会会長 電子制御工学科3年 伊藤 洋介

みなさんこんにちは。突然ですが、みなさんは学生生活のしおりを読み込んだことがありますか？ もちろん学生生活に関わることに書かれているのですが、特に注目して読んでいただきたいのは学生会規約や学生会細則です。学生会規約第4条には「本会は、奈良工業高等専門学校学生の全員をもって組織し、また学生は入学と同時に本会の構成員となるものとする」とあります。

今このCampusを読んでいる学生のうち、どれくらいの方がこの条文を知っているかは分かりませんが、みなさんはこの規約によって学生会の一員となっています。では、学生会の一員であるみなさんには何ができるでしょうか。規約を読み進めると第40条には「規約の改正」について書かれています。例を挙げると「クラブ費が足りないから第32条の会費に関する規約を変えたい」と思う学生を全学生の3分の1以上集めれば、規約を改正できる機会を得ることができるのです。このようにみなさんは自らの学生生活を変える権利を持っています。その権利を存分に活用し、私たちが理想とする学生会へ近づけていきましょう。



現在、学生会では次年度に向けてスポーツ大会やクリーンキャンペーン、交通安全運動などを刷新しています。これらの活動に対する意見は、学級の各委員に伝えていただければ、委員会の方で検討させていただきます。みなさんの積極的な意見をお待ちしております。それでは、今後とも学生会活動へのご協力のほどよろしくお願い致します。

## クラブ・同好会紹介

vol.14

- | 体育部     | 文化部      | 同好会        |
|---------|----------|------------|
| ★アーチェリー | ●からくり    | ●化学同好会     |
| ☆合気道    | ☆機械研究会   | ☆クイズ研究会    |
| ☆弓道     | ☆軽音楽     | ●現代視覚文化研究会 |
| ☆剣道     | ☆茶道      | ★生協学生同好会   |
| ☆硬式野球   | ☆将棋      | ●電気技術研究会   |
| ☆サッカー   | ☆情報処理研究会 | ☆料理研究会     |
| ●柔道     | ☆バレーボール  | ☆合唱同好会     |
| ☆少林寺拳法  | ☆ハンドボール  | ☆数学同好会     |
| ☆水泳     | ●ラグビー    | ●システム開発研究会 |
|         | ●陸上競技    |            |
|         | ☆吹奏楽     |            |
|         | ☆美術      |            |
|         | ☆放送      |            |
- ☆印は既刊号で紹介したクラブ・同好会です。



### アーチェリー部

物質化学工学科3年 田中 佑

アーチェリー部は現在、男子16名・女子5名の計21名で、月曜日～土曜日の週6日間活動しています。

活動内容は、春から秋は50mおよび30m先にある的を、冬は18m先にある的を狙って練習しています。これに加え、月例会という記録会に参加して、部員たちおよび社会人と競い合っています。このような活動を通して技術力はもちろん、集中力も高めることができます。奈良県の記録会に参加する部員もいます。

また、年に一度、高等専門学校アーチェリー競技会が行われ、昨年私たちは男子女子ともに団体・個人で優勝することができました。アーチェリーの面白さは自分に身についた技術力が点数として目に見えることです。今年も優勝できるように頑張って練習していきます。



### 生協学生同好会

情報工学科3年 笹治 拓矢

生協学生同好会は毎週火曜日の放課後に食堂で活動しています。私たちの同好会は他のクラブとは違います。私たちは、生協が運営する購買や食堂のお手伝いをしたり、組合員に対して企画を行ったりしています。特に来てもらいたいのは、かき氷企画とケーキ喫茶です。どちらも還元企画であり、安い価格で提供し、学生に楽しんでもらっています。学生のみなさんに楽しく学校生活を送ってほしいと思って、日々頑張っています。大変そうだと思うかもしれませんが、いざ入部してみると驚きと楽しみの連続です。大学生協との交流もっており、年間通して様々なテーマで話し合いを行い、社会勉強もできています。新学期の教科書の準備や新入生のオリエンテーション、制服採寸のお手伝いもしています。皆さんは知っているでしょうか？

私たちは目立つ同好会ではありませんが、学生に寄り添う活動をしながら、アットホームな雰囲気の中で楽しくやっています。

## 第10回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテストに参加して

情報工学科5年 川上 幹男

私達は2017年1月27・28日に開催された全国高専プレゼンテーションコンテストに参加しました。奈良高専は、プレゼンテーション部門において去年から引き続き2年連続での全国大会出場となりました。去年、入賞を逃した悔しさをバネに2回目の全国大会に挑んだのですが、残念ながら入賞することはできませんでした。しかし、本番では自分たち独自のユニークさを存分に発揮し、会場を大いに盛り上げることができ、プレゼンテーションの楽しさと会場を沸かせる喜びを学ぶことができました。また、他高専の参加者との交流を通して留学の経験談やプレゼンへの取り組み方などを知ることができました。そして、本大会を通して他高専生の英語学習への意欲の高さを知り、そのことが今後の自分達の英語学習へのよい刺激となったと思います。今年度も入賞を逃してしまいましたが、奈良高専のレベルは毎年一歩



ずつ全国優勝に近づいていると私は思っています。奈良高専と聞けば「プレコン」と言われるよう、後輩たちには頑張ってもらいたいと期待しています。



会場を大いに沸かせる学生たち

## 速報

### 平成28年度奈良県高等学校新人大会兼学年別弓道大会

2月4日(土)、橿原市橿原公園弓道場にて、奈良県高等学校新人大会 兼 学年別弓道大会が開催されました。

結果は以下のとおりです。

【団体戦】	3年生男子の部1位	・情報工学科	井上 誠之
		・情報工学科	鷺尾 巧
		・物質化学工学科	圓城 智也
3年生女子の部3位		・電気工学科	秋山 莉香
		・電気工学科	樫根 彩花
		・情報工学科	井上 誠之
【個人戦】	3年生男子の部1位	・情報工学科	井上 誠之



## 卒業記念品の寄贈

平成28年度卒業生の皆さんから「卒業記念品」として、『ワンタッチクイックテント』を寄贈していただきました。卒業生の皆さん、どうもありがとうございました。



2400×3600 2台

## 行事予定 (4月～7月)

- ◆4月1日(土) 春季休業(～3日(月))
- ◆4月4日(火) 開寮・寮生集会
- ◆4月5日(水) 2～5年全校集会・ホームルーム・教科書購入健康診断
- ◆4月6日(木) 平成29年度入学式・入寮式  
TOEIC-IPテスト(3～5年)  
特別日課(2年)・新入寮生歓迎夕食会  
新入生オリエンテーション(1年)
- ◆4月7日(金) 特別日課(2～5年)
- ◆4月10日(月) 前期授業開始(1～5年)
- ◆4月12日(水) 1年健康診断(午後)
- ◆4月13日(木) 学年共通試験(1年・2年)・合同特活(1年)
- ◆4月14日(金) 新入生オリエンテーション・2～4年春季ハイキング  
5年登校
- ◆4月18日(火) 開校記念日(通常授業:金曜振替授業)
- ◆4月20日(木) 校内リーダーズ研修会
- ◆4月25日(火) 学寮避難訓練
- ◆4月27日(木) 交通安全教室(2年)
- ◆5月2日(火) 閉寮
- ◆5月8日(月) 開校記念日振替休日・開寮・寮生集会
- ◆5月11日(木) 学生会総会
- ◆5月13日(土) 近畿地区高専体育大会(硬式野球～14日)
- ◆5月16日(火) スポーツ大会(本科・専攻科全年生)  
専攻科入学願書受付(推薦:19日まで)
- ◆5月20日(土) 学寮スポーツ大会
- ◆5月25日(木) 卒業生と語る会(3年)  
社会人教育セミナー(4年)
- ◆5月31日(水) 1～4年前期中間試験(6日まで)
- ◆6月4日(日) 平成30年度編入学試験
- ◆6月7日(水) 平成30年度編入学試験合格発表
- ◆6月12日(月) 救急法講習会(熱中症)
- ◆6月15日(木) 人権合同特活(2年)
- ◆6月22日(木) 人権合同特活(3年)
- ◆6月24日(土) 寮祭(～25日)
- ◆7月1日(土) 近畿地区高専体育大会(サッカー～3日・テニス～2日)
- ◆7月3日(月) 公開授業(7日まで)
- ◆7月6日(木) インターンシップ事前指導特別講演会(4年・専攻科)
- ◆7月7日(金) 近畿地区高専体育大会(バドミントン～8日)
- ◆7月8日(土) 近畿地区高専体育大会  
(バレーボール・柔道・ハンドボール～9日)
- ◆7月9日(日) 近畿地区高専体育大会(水泳)
- ◆7月15日(土) 近畿地区高専体育大会(剣道～16日)
- ◆7月17日(月) 近畿地区高専体育大会(陸上)
- ◆7月20日(木) 全校集会
- ◆7月21日(金) 補講・閉寮
- ◆7月22日(土) 夏季休業(本科)(8/31まで)
- ◆7月28日(金) 近畿地区高専体育大会(バスケットボール～23日)  
体験入学 第1日目(7月28日・8月2日(水)～3日(木))

## 編集後記

本科卒業生、専攻科修了生の皆さん、ご卒業・ご修了おめでとうございます。本校で学んだことを糧に、新たな世界に漕ぎ出してください。社会という名の世界では多くの苦難や理不尽なことにも遭遇することでしょう。それでも本校で培った経験や技能、出会った友人や恩師との絆を胸に、果敢に挑戦していってくれることを期待しています。

さて今回、ちょっとした変わり種として「学生会(広報委員会)活動レポート」を掲載しました。学生会には様々な委員会がありますが、図書委員会や高専祭実行委員会に比べ、広報委員会は、その活動があまり広く知られていない、どちらかといえば縁の下力持的な存在です。そこで今回、その活動にスポットを当ててみました。皆さん、如何でしたか?

今後もこのような「広く知れ渡ってはいないけれど素晴らしい活動」なども紹介していきますのでどうぞお楽しみに。

4月からは新年度です。新たな目標を立て、心機一転頑張ってくださいませ!!



## CAMPUSについて

奈良工業高等専門学校では、広報誌「CAMPUS」を年3回(7月・11月・3月)発行し在学生の保護者の方々に送付しています。また、キャンパスは奈良高専のホームページにも掲載しています。



文部科学省

地(知)の拠点

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。